

提 言 書

平成 30 年 2 月 21 日

平成 29 年度水戸市市政モ二夕一

[提言]

<子育て>

【乳幼児の健康診断について】

- 1 3歳までの健診は、市民センターやエクセルのホール、内原のイオンホールなどを会場にして、土日も実施し、予防接種も同時にできるようにしてほしい。
- 2 健診の会場には、待ち時間などに親同士で会話ができるようなスペースを設けてほしい。

【子どもにかかる費用負担の軽減について】

- 3 子どもの医療費を無料にしたり、保育所、幼稚園の学費減免の適用範囲を広げて、子育て世代の負担を軽減してほしい。その際、すべての子どもは平等に扱うことが必要であることから、親の所得による制限などは設けないでほしい。

【障がいがある子どもについて】

- 4 子どもの頃から、障がいのある人と日常的に接する機会を持つことで、健常者と障がい者が「お互いに思い合う」関係が築けると思うので、普通学校に、障がいを持った子どもがもっといてもいいのではないかな。

【子どもの遊び場について】

- 5 「はみんぐぱーく」や「わんぱーく」など、子ども対象の施設が水戸市街に集まっている。郊外に駐車場やグラウンドのある広大な施設を造れば、水戸市以外からも多くの世代のたくさんの人が集い、賑わいにもつながるのではないかな。
- 6 学校のプールの一般開放は、どこで実施しているのか、学区外だとわかりにくいこともあるので、もっと分かりやすく案内・周知してほしい。また、駐車場がない所もあるので、バスなどの公共交通機関の利用方法なども併せて案内してほしい。
- 7 千波湖など、駐車場のある公園は、土日は人が多く、車が停められない時もあるが、平日は比較的すいている。公園に、バスケット型のブランコなど、幼児の遊べる遊具や、円形のベンチを増やせば、親同士の交流も図れ、平日の昼間でももっと親子連れが集まるのではないかな。

8 逆川公園やその周辺の駐車場は、よく整備されており、緑豊かな公園である。子ども連れで遊んだり、散策などもでき、誰もが楽しめる公園なので、マップや案内板、インターネットなどでもっと市民にアピールしたらどうか。

9 ミオスのぽかぽかつどいの広場などは、気軽に子育ての相談に応じてくれたり、お弁当と一緒に食べたりと、子育てをする親にとって非常に心強いが、そういった子育てに関連する情報が分かりにくい。子育てに関するサービスの一覧表を作ったり、インターネットなどを、もっと検索しやすくしてほしい。

【学童保育（学童クラブ・開放学級）について】

10 以前から見ると学童保育の環境は整備されているように思うが、指導員の数をもっと増やしてほしい。大学生が指導員をやってくれているところもあると聞いたが、そういった指導員を増やす取組を進めてはどうか。

【駐車場について】

11 駐車場のない公園は、遊んでいる人をほとんど見かけないところもある。駐車場があって、遊具や除草などがきちんと管理されていれば、利用者の少ない公園ももっと利用が増えるのではないかな。

<その他>

【高齢者の運転・生活のサポートについて】

12 小型のコミュニティーバスを運行したり、市民センターでの移動スーパー、食料品などの宅配サービスの案内など、高齢者の目線で「車がなくても生活できる」環境を整えていくことが望ましいのではないかな。

【環境・その他について】

13 道路の除草などは、どこに相談していいのかわからない。雑草や舗装道路の傷みが目につくので、携帯で写して報告できるような仕組みを整備してほしい。また、一般の人が日常的に街路樹の落ち葉の清掃をしているのを見かけるので、そういった方に無料でごみ袋を提供できないかな。

14 子ども、妊婦、高齢者、障がい者など、みんなが気持ちよく使えるトイレがあるところは人も集まりやすいと思う。オストメイトの有無などが記載されたトイレマップの作成や、図柄を工夫したトイレトペーパーの設置などで、みんなに優しいまちとして水戸をアピールしてもよいのではないかな。

- 15 茨城のおいしいものを集めたレストランなどを，水戸駅周辺に作ったり，新しい市役所に食堂ができるなら，県産品の食材を使ったメニューを加えて，一般市民や観光客にも開放してはどうか。
- 16 安心して子どもを産み育てる為に，医師の確保を目的にした政策を考えてほしい。
- 17 漫遊マラソンに参加した人から，「沿道の店舗や仮設のトイレが利用できたので，トイレに困ることはなかったが，走っている時に和式のトイレでは大変だ」という話を聞いた。このような意見を参考に，次回からは洋式トイレを増やしてはどうか。